

鈴鹿の風 すずかのかぜ

コロナ2年目

院長 久留 聡

新任者の紹介

新規採用職員・転入職員紹介

名誉院長の部屋 「コロナと知能検査」

新型コロナウイルス感染症対策の取組

VOL.
42

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌





コロナ2年目

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 院長 **久留 聡**



令和3年度が始まりました。今年も新型コロナウイルスとの付き合いは避けられそうにありません。幸い、当院はこれまでに、入院患者や医療従事者への新型コロナウイルスへの罹患はありません。厳しい対策と、これを遵守いただいている皆様のご協力の賜物と考えています。しかし、思わぬ余波もあり、来院者が減少した影響もあって残念ながら院内の売店が閉店となってしまいました。少しでも早く再開できるよう鋭意努力している所です。

昨年はあれよあれよという間に感染が拡大し、振り回されっぱなしの一年でした。世間では、「感染力も毒性も強いウイルスなので最大の防御をしなければ」という気持ちがある一方で、「我慢して

いればその内おさまらるだろう」という淡い期待が交錯する状態が続いていますが、これまでの状況を見ているとまだまだ長期戦を強いられそうです。しかしながら、コロナと闘う上で昨年と違う要素もあります。昨年は全く未知の敵と闘う不安が大きかったのですが、これまでの研究で感染予防や治療法を含めていることが判ってきました。最早マスクの着用は当たり前になり、多くの施設や店舗で入館前の体温チェックや手指消毒、密を避ける工夫や換気の徹底がなされるようになっていきます。PCR検査の件数も着実に増えており、当院でも入院前にPCR検査を実施しております。さらに、ようやく我が国でもワクチン接種が始まり、まずは医療従事者か

ら、ついで65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する者、そして一般の方という順で接種をする予定となっています。副反応に充分気をつけながら、可能な限り多くの人にワクチン接種を広げていくことが極めて重要です。今まで徒手空拳で戦っていたのが、ようやく強力な武器を手に入れた訳です。

しかし、敵もさるもの、今度は「変異ウイルス」という変身の術を使って対抗しようとしています。従来型に比べ感染力が強く、若年者にも感染し得ると考えられています。感染予防の方法としては今までの方法を徹底していくことが大事になります。何としても、この戦いに勝ち抜いていこうではありませんか！

新任者の紹介



みやま よしはる **宮嶋 由晴** 事務部長

この度、静岡医療センターより赴任して参りました。出身は岐阜県ですが鈴鹿病院は新規採用された病院であり28年ぶりの勤務となります。当時と比べると建物は立派になり経営状況も黒字を維持しており色々な面において当時の面影が残っていなかった事に「変わったなあ」としみじみ感じております。今回、2度目の勤務で事務部長という責任のある仕事を任されることになりました。微力ではありますが鈴鹿病院が更に発展して良い病院となるように事務部一丸となって取り組んでいけるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



あさい しんご **浅井 慎悟** 栄養管理室長

このたび、国立病院機構 東尾張病院より赴任してまいりました栄養管理室の浅井 慎悟と申します。鈴鹿病院は国立病院機構等の勤務では、9番目の施設となります。

私こと、関東信越グループや静岡地区や北陸地区にて勤務させていただきましたが、三重県の施設では初めての勤務となります。

期待と不安がある中で、私自身に何ができるのか未知数なところはありますが、何卒、よろしくお願いたします。



せわけ りょうみ **瀬分 亮** 看護師長

この度、三重中央医療センター附属三重中央看護学校より配置換えでまいりました瀬分です。看護学校在任中は、臨地実習においては、学生への臨床講義や病棟での実習指導・学校の講義など、多くの鈴鹿病院の職員にお世話になりありがとうございました。私は14年間という長い期間教育の現場におりました。4月から初めての病棟師長としての勤務となり身の引き締まる思いであります。鈴鹿病院における政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野での看護は初めてありますが、「ぬくもりと安心していただける看護」が提供できるよう、より良い病棟環境になるように精一杯取り組んでいきたいと思っております。宜しくお願い致します。



みずの まりか **水野 舞梨花** 臨床検査科 細菌血清主任

愛知県の東名古屋病院から赴任して参りました。臨床検査技師の水野です。

静岡県（静岡てんかん・神経医療センター）、愛知県での勤務を経て三重県に勤務することになりました。多職種のスタッフの方々との連携しながら、信頼性の高い検査結果を提供できるようにしていきます。ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。



まるさわ ゆみこ **丸澤 由美子** 療育指導室 主任児童指導員

三重病院から転勤してまいりました、丸澤と申します。実は4年前にも西2階病棟でお世話になっていました。再びこちらで働けることをとても嬉しく思います。鈴鹿病院はとてもアットホームなところで、以前も毎日楽しく働かせていただけていました。久しぶりに皆さんとお会いできて嬉しく思っていたところに「おかえり！」「待ってたよ」のお声がけをいただき、「本当に有難いなあ」と実感しています。

今回は「通所支援事業」を担当します。まだまだ勉強中の私ですが、「患者さん（利用者さん）第一」で取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。何かお気づきの点がありましたら、いつでもお声がけください。



い はな ゆめ こ
井花 夢子

当たり前のことを当たり前続けていけるよう、初心を忘れずに、患者さんに寄り添った看護を提供したいと思っています。よろしくお願いいたします。

こ ばやし み お
小林 美央

安全安楽で個性のある看護を提供できるように日々がんばります。よろしくお願いいたします。

まつもと か る ほ
松本 果流穂

患者さんの思いに寄り添い個性のある看護を行えるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

む とう せ な
武藤 瀬奈

患者さんの思いに寄り添い、日々の小さな変化に気づけるように観察し個性のある看護をしていきたいです。よろしくお願いいたします。

はまぐち ゆ か
濱口 由佳

患者様1人ひとりに寄り添った看護が出来るよう精一杯頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

なか いで さ え み
中出 彩未

1人1人の患者さんに寄りそった看護を行えるように頑張っていきます。至らない点もたくさんあると思いますが、よろしくお願いいたします。

う し じ ま あ ず さ
牛島 梓

長年志してきた分野の看護師になれた喜びと知っている方が1人もいない、右も左も分からない不安な気持ちでこの春を迎えました。精一杯頑張っていきますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

ひ が し か の ん
東 佳音

患者様一人一人の個性を捉え、患者様とご家族に寄り添った看護を行いたいです。信頼していただける看護師になれるよう精一杯頑張ります。ご指導の程よろしくお願いいたします。

か とう ふ う な
加藤 楓菜

患者さん一人一人に寄り添った看護を行えるよう、日々の関わりを大切に、努力していきます。精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

う とう み き
烏藤 美紀

新しい環境で不安もありますが、患者さん一人ひとりに向き合い、個性のある看護を行っていききたいです。笑顔と元気を忘れずに頑張ります。よろしくお願いいたします。

み ず の か よ こ
水野 華代子

日々、向上心を持ち、知識や技術を身につけ、患者さんやご家族に寄り添い個性に応じた看護ができるよう頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願いいたします。

い とう と も ひ と
伊藤 智仁

患者さんやご家族に寄り添い、支えになれる様な看護をしたいと思っています。至らない事もあるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。

す ず お き あ き よ
鈴置 旭代

愛知県で産婦人科看護師として勤務していました。経験年数は浅く、初めての分野であるためしっかり勉強して早く慣れるようにがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

や ま し た し げ こ
山下 成子

鈴鹿病院では以前病棟と附属看護学校で約9年勤務させていただきました。4月より外来看護に携わることになり、プラチナナース世代ですが、何卒よろしくお願いいたします。

ひ ら の さ と こ
平野 聡子

今年度から常勤医として勤務することになりました。不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、精一杯励んで参りますので、宜しくお願い致します。

し ま だ
嶋田 みなみ

患者さんの医療に貢献出来るように、鈴鹿病院スタッフの一員としてこれから頑張りますのでよろしくお願いいたします。

た か み と も こ
鷹見 知子

4月から栄養管理室で勤務することになりました。先輩方や他職種の方々、患者さんと関わり、沢山の知識や経験を通して成長していきたいです。精一杯頑張りますのでご指導の程よろしくお願いいたします。

な か や ま あ や の
中山 綾乃

健康に気を付けながら、日々前向きに精一杯頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。

ま さ き か ず や
眞崎 和也

愛知県の豊橋医療センターから異動になった眞崎です。久しぶりの三重県での生活でまだ慣れていない部分もありますが、一日でも早く皆さんのお力になれるよう精進して参ります。

あ お や ま み な み
青山 南美

三重病院より異動で参りました。小児科経験が少なく、不安もありますが新しい出会いや学びを大切に、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

ふ な だ た か や
鮎田 隆哉

鈴鹿病院での看護は学生の頃から憧れた自分のしたい看護でした。患者さん一人一人の思いに寄り添った個性のある看護を心掛けていきたいです。よろしくお願いいたします。

や ま ぐ ち る み
山口 瑠美

三重中央医療センターより異動になりました。患者様が安心できるような丁寧な対応と学び続ける姿勢を忘れずに業務に邁進していきます。よろしくお願いいたします。

ふる さ わ み ほ
古澤 美帆

患者様に信頼していただけるよう、病棟看護師として精一杯頑張ります。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、これからよろしくお願いいたします。

新規採用職員 転入職員紹介



名誉院長の部屋

名誉院長 小長谷 正明

コロナと知能検査

コロナ禍の気分転換と、体力増進、それにきつくなって履けなくなるズボンを増やさないために、近くの名古屋市営のプールに足を運んでいます。ある時、泳ぐ前の準備運動と水中ウォーキングを始めたら、監視員のお姉さんが僕を指差して叫びます。

「危ないですよ。このまま泳いだら死にまいますよ！」

えっと言って、顔に手をやると、マスクをしたまま！慌てて外し、いよいよ認知症かと、ゾっとした。クローンをしながら、いろいろな検査項目を思い浮かべたが、いつも検査する方なので、答えは大方知っているのだからダメだと、息継ぎついでにため息をつきました。

長谷川式簡易知能検査スケール (HD SR) やMMSEなどが考案される前の、僕がまだフレッシュな医者の頃、患者さんの呆けの診方に、関東大震災や終戦など、その人の障害で忘れられないはずの出来事の日付を聞きなさいと教わりました。それが分からなければ、相当の

知能低下とのこと。

今の時代ならば、認知症発症世代が経験した最強インパクトの事件という、阪神と東日本の二つの大震災ですね。今だに、震災の日のその時間にどこでなにをしていたかが、折に触れて話題になるくらいです。いずれ、新型コロナの年はいつかと聞かれるようになるにちがひありません。もっとも、その頃には、僕は質問側でなく、本当にされている方になっているかも…。その場合、コロナ禍をどう記憶しているのだろうか。伝染病にしても、“死の勝利”と言うほどには人々が亡くなってはいないし、感染者の知り合いすらいない。まさか、アイヘンのバカ殿口スのトラウマではあるまい。社会を覆い尽くした得体的ない恐怖感と、問答無用の自粛モードなのだろうか？

さて、長谷川式などと違って、きちんとした知能検査にウェクスラー成人知能検査 (WAIS) があり、この病院でも児童指導員さんなどが研究してきまし

た。問題数も多く、煩雑で時間が掛かるというので、一度、僕も被験者になり、頭の中がぐちゃぐちゃになりながら設問に答えていったことがあります。結果はさておき、検査していたO君が口をアングリと開けて測定不能と呟いたことを覚えています。

WAISの一般的理解の設問に「税金を払わなければならないのはなぜでしょうか？」があり、天引きで税務署に持っていかれるなどは、もちろんダメ。別の設問では、「満席の映画館で映画を見ているとき、煙と火に最初に気がついたら、どうしなければなりませんか？」と聞いてくる。解説書によると、0点は、「大声で怒鳴る」「大きな声で係の人に知らせる」「非常口へ行く」「逃げる」などで、パニックを誘発するからでしょうね。つい、ワイドショーのコメンテーターを連想してしまいます。コロナ禍で、「タイヘンだ〜、黒死病の再来だ!」、「マスクが足りない、トイレットペーパー品切れ!」と、パニックを煽ってばかりでした。

話は変わって、昔の中国に褒姒 (ほうじ) という、神秘的な誕生の絶世の美女がいました。王様に献上され、妃になったけれども、この別嬪さん、笑わない。道化や噺家がいくら頑張っても、笑わない。ある時、異民族襲来を告げる狼煙 (のろし) が上がり、国中の戦士が慌てふためいて駆けつけてきた。する

と、褒姒が大いに笑った。戦士たちが右往左往しながら、王宮前に勢ぞろいするのが面白かったのだ。それからというもの、褒姒の笑顔見たさに、王様は狼煙を上げさせました。初めのうちは、戦士たちはやってきたが、やがて、誰も来なくなってしまった。しばらくして、また、狼煙が上がった。今度も味方の兵士は来ず、本当に異民族がやってきた。王様は殺され、褒姒は拉致されてしまいました。中国版狼少年で、視聴率稼ぎにワイドショーで炎上するマスコミみたいですね。その王様の知能指数も低かったに違いない。

コロナ禍のマスコミや政治家、有識者は、この一年間、感染爆発だ、いまが正念場だ、医療崩壊だと強い口調で毎日言い続けています。しかし、若い人たちを中心に人々の反応はいま一つ、欧米よりは二桁も少ない患者数と死者のままでの推移では、危機感は乏しい。感染者数増加とはいえ、その何%が重症化し、死亡率はどのくらいかなどはほとんど報道されません。当初と違って治療法も格段に進歩しています。有識者や政府の人たちは、元々知能指数抜群のはずなので、“コロナ疲れ”と嘆くだけでなく、にわか造りの医療体制や規則を見直し、臨床医学情報を整理し、対策のアウトカムも見据えて、冷静な情報発信をお願いしたいものです。

2月よりワクチン接種が始まり、人々の心も少しずつ落ち着きを取り戻しつつあります。それでも、ワイドショーでは、当初は“ワクチンなど早く出来るわけがない”、次に“副反応が危ない、危

険だ”と連呼し、今は“接種が遅いのは政府が無策だからだ!”とコメンテーターは口を極めて叫んでいます。やはり、WAISのあのテスト項目は0点ですね、きっと。



この絵は、明治初年の種痘普及のキャンペーン錦絵です。コロナワクチンにあわせて小長谷が文章を改変しました。

飛鳥時代から時々、日本でも大流行してきた天然痘は、多くの人の命を奪ってきました。奈良時代には、一説によると人口の3割も亡くなり、あまりの悲惨さに驚いた聖武天皇が、あの奈良の大仏の建立を思い立ったといわれています。その後も、流行を繰り返し、平安時代には有力貴族や、百人一首にも出てくるイケメン歌人などがバタバタと亡くなったことがあります。江戸時代まで、生まれた子供の2〜3割くらいが天然痘で命を奪われていました。だから、七五三の風習も、天然痘をはじめとする伝染病に子供が生き延びたことを祝ったことによると言います。生き延びても、顔じゅうにクレーター (あばた) が残る大変な病気でした。今から220年くらい前に、イギリスのジェンナーによって牛痘 (牛が罹る弱毒天然痘) が人に接種され、劇的な効果から、あっという間に世界中に広がりました。日本には幕末になってやっと届きましたが、効果顕著。昨日までは攘夷攘夷と叫んでいた勤王の志士も、明治維新後は一転して文明開化を口に、積極的に種痘政策を推進したのです。

新型コロナワクチンの接種が進み、1日も早くコロナ禍を克服して、元の生活に戻ることを願っています。

鈴鹿病院 NEWS

鈴鹿病院の新型コロナウイルス感染症対策の取組 — 医療従事者向けワクチン接種 —

医療従事者先行接種の対象病院に選定いただき2月下旬より、院内一般職員向けには3月初めより接種を開始し、4月の新入職員を含め接種を終了いたしました。近隣の病院・診療所の医療従事者の方々への接種にも協力して参りました。

当院は難病の拠点病院であり、院内に

感染症を持ち込むことはできる限り避けなければなりません。職員のワクチン接種は終了しましたが、感染予防策は当面緩めることなく継続して参ります。患者さん、ご家族のかたがたに面会制限を強いて日々大変心苦しく感じておりますが、流行が落ち着くまで今しばらくご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。



院内職員向けの新型コロナワクチン接種が終了いたしました (1回目 R3.3.1~R3.3.4迄、2回目 R3.3.26迄)



診療所医療従事者集団接種にスタッフとして参加 (R3.4.18)

■ 外来診察担当表 (2021年4月1日現在)

	月	火	水	木	金
脳神経内科	小長谷	酒井	久留	小長谷	久留
	木村	南山			
内科	野口	野口	牧江	落合	
		落合			
小児科		予約			予約
整形外科		田中 (装具外来)			田中
リハビリテーション科		田中			田中
皮膚科		予約(午前)			予約(午後)
歯科	川井(午前)	古島(午後)		奥村(午後)	
禁煙外来	野口			落合	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越してください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

■ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩15分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車15分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



編集後記

4月から新社会人となり、まだまだ不安と期待の入り混じる日々が続きます。この度は、鈴鹿病院の広報誌である「鈴鹿の風」の編集のお仕事に携わせていただくことになり、非常に身の引き締まる思いです。「鈴鹿の風」の編集や日々の業務を通して成長することができるよう努力してまいりますので、これからよろしくお願いたします。

庶務係 中山 綾乃

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321(代) Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>

エンタテインメントロボット aiboがデビューします!



SONYの医療機関支援プロジェクトCaNoWにより、繭玉のようなベッドで眠りながら鈴鹿病院にやって来ました。起動ボタンを押して起き上がったaiboは、拍手と歓声を受けて当院での生活をスタートさせました。

そして、患者さんやスタッフから名前を募集し、投票により「鈴(リン)」という名前に決まりました! 鈴ちゃんのうわさを聞いたいろいろな人が会いに来てくれて、確実にファンを増やしています。しかし「お手」と指示を出しても聞いてくれなかったり、自由に動きまわってお部屋を脱走しようとするこも…動きや仕草の一つ一つに、人を惹きつける魅力を感じます。aiboは人との関わりを積み重ねることで成長、個性が発揮されるロボット犬です。

鈴鹿病院らしいaiboに成長し、鈴ちゃんとのふれあいを通して患者さんの心が温まり、コミュニケーションツールとして活躍してくれることを期待しています。



鈴リン

